



# イチゴ編



病害虫注意報  
2017年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

収穫が始まる前に定期防除をしっかり行い 年内の病害虫発生を抑えましょう！

## 定植後 おすすめローテーション

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数			
						ミツバチ	マルハナバチ	ミカド	刊
10月①	炭疽病	ゲッター水和剤 (予治)	1,000倍	収穫開始 21日前まで	3回	0日	1日	14日	
	ハダニ類、ハモンヨウヨウムシ、オオタバコガ	アファーム乳剤 (速成虫幼虫)	2,000倍	前日	2回	2日	2日	7日	
10月②	炭疽病、うどんこ病	ザリット水和剤 (予治)	2,000~4,000倍	前日	3回				
		※ 炭疽病は2,000倍							
10月③	ハダニ類、アブラムシ類、コガネムシ類、うどんこ病	フーモン ※ 野菜類登録 (速成虫幼虫)	1,000倍	前日	—	1日		1日	
	炭疽病、灰色かび病、うどんこ病	アミスター2070アブル (予治)	1,500~2,000倍	前日	本圃3回	0日	1日	0日	
		※ 炭疽病は2,000倍、灰色かび病は1,500倍							
10月④	ハダニ類、シラミ科アリダニ	コマルト水和剤 (速成虫幼虫)	2,000倍	前日	2回	1日		7日	
	灰色かび病、うどんこ病	カリグリーン ※ 野菜類登録 (治)	800~1,000倍	前日	—	0日		0日	
		※ 灰色かび病は800倍							
10月④	ハモンヨウ、オオタバコガ	プロレ70アブル (中幼虫)	1,000倍	前日	4回	1日		0日	

★ いずれの薬剤も、高温時・多湿時の散布は控えその日のうちにきちんと乾かしましょう！

### おすすめ資材

気門封鎖剤を上手く利用して  
他剤の使用回数を抑えましょう。



## フーモン

(ポリグリセリン脂肪酸  
エステル乳剤)  
適用病害虫；  
ハダニ類、うどんこ病  
アブラムシ類、コガネムシ類  
1,000倍/収穫前日

有機微生物入りの土壌改良剤！

健全な根圏環境の形成、  
毛根の増加による根張り促進に！

## トリコテソイル



トリコテソイル菌 250g/箱  
灌注処理  
125~250g/10a  
土耕の場合、施用頻度は  
定植後1~3ヶ月毎

苗の活着改善に！毛細根の充実にも！



## ファイトメット

肥料登録：  
生第84050号

灌注30~50cc/ポット  
3,000倍

花芽分化の充実！窒素代謝の促進に！



## エルモックス赤

肥料登録：  
輸第9423号

10日おきに2回  
葉面散布1,000倍